

ワケギの夏季栽培の増収, 高品質化技術

- ◆ワケギの夏季栽培は、りん茎が肥大したり、葉身の伸長が停止して、良品生産が不安定です。そこで、光質制御と適正な土壌水分管理により、増収と高品質化の技術を開発しました。

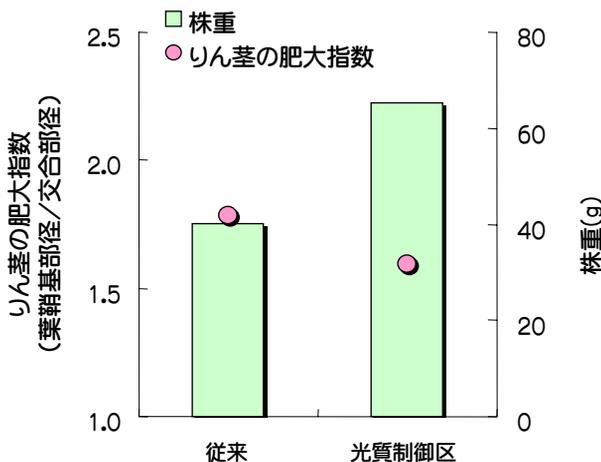
光質制御技術

- ◆夏季の強日射高温下での紫外線(UV:200~380nm)の除去は、りん茎の肥大を抑制し、株重、葉長を増加させます。
- ◆遠赤色光(FR:700~800nm)の抑制によるR(赤色光 Red:600~700nm)/FR比の増加は、りん茎肥大を抑制します。
- ◆夏季栽培の生育に適した日射強度は、自然光の70%です。
- ◆これらの光環境の制御を可能とする市販の被覆資材は、紫外線、遠赤色光および熱的作用のある赤外線(800nm以上)を抑制する資材(商品名:メガクール, MKVプラテック株)で、天井全面被覆が有効です。

土壌水分管理

- ◆かん水開始点は、 -0.033MPa (pF2.1)で行います。
- ◆1回当りのかん水量は、最低8mm必要です。

【夏季栽培における光質制御によるりん茎の肥大指数と株重】



従来: 農業用ビニル+白寒冷紗, 光質制御区: メガクール



【夏季栽培現地試験の様子】



【夏季栽培における光質制御による現地での生育状況】



従来: 農業用ビニル+白寒冷紗, 光質制御区: メガクール
植付け日: 2005年6月17日, 調査日: 8月2日